

補助事業番号 27-2-018  
補助事業名 平成27年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る 補助事業  
補助事業者名 特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

音楽コンテストへの出場を通して、専門家の評価が得られ、他の演奏機会が増えることで、障がいを持つ音楽家の活動支援とする。また、音楽性・完成度の高い音楽作品の観覧を通じて、障がい者の自立の可能性・必要性について一般の人々の啓発とする。もって、障がい者の分野における社会福祉の増進に資する。

### (2) 実施内容 (<https://gc.npojba.org/>)

2015年10月12日(月・祝)東京国際フォーラム ホールCにて第12回ゴールドコンサートを開催。障がいを持つ音楽家が出場する、本格的な音楽コンテスト。全国、海外から選抜された11組が出場。連続出場者の少なく、また新たな顔ぶれとなり、グランプリ、楽曲賞、歌唱演奏賞、観客賞(観客投票の第1位)を決定した他、審査員長の湯川れい子氏より特別賞として“湯川れい子賞”が設けられた。特別ゲストとして高次脳機能障害により記憶障がいとなったGOMA氏による演奏に加え、第8回グランプリ、10周年記念大会第3位の佐藤ひらり氏によるゲスト演奏も行った。



△ 開演前の客席



△ DJ Yuta & Yuichi グランプリ受賞シーン

## 2 予想される事業実施効果

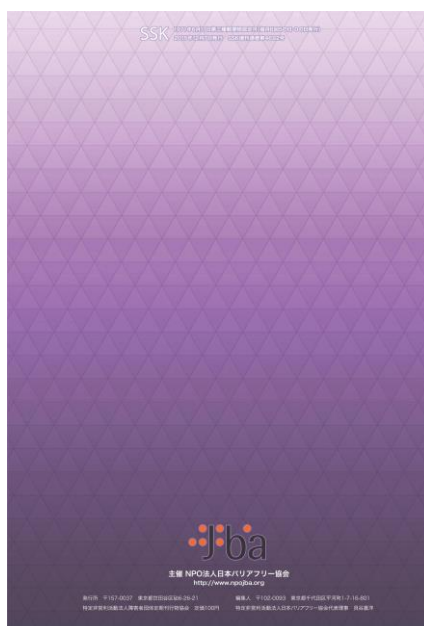
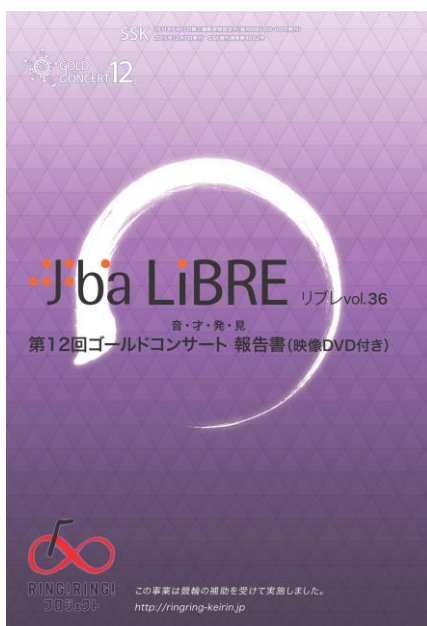
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者が、このコンサートをきっかけとして、演奏のみならず、出演依頼や各メディアの取材依頼を受けるなど、音楽活動の場の拡大。  
(ゴールドコンサートの出場をきっかけに大手メディアに取材をされたり、タイアップされたりする出場者もあり、CDデビューを果たす出場者もいた)

- 事業の継続をすることで、多くの障がいをもつ音楽家の実力が、自分自身・社会に対して証明されるため、自立と社会進出の足掛かりとなる。
- 観客は障がい者が奏でる音楽のレベルの高さに意外性を覚え、障がいに対して関心を持ち、障がい者の「出来る」部分に注目し始める。
- 障がい児や保護者が鑑賞することで、将来について話し合うきっかけになり意識に変化をもたらす。
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者の出演依頼やメディア露出の増加により、イベントの知名度が上がり、音楽家を目指す障がい者が、本コンサートへの出場を目標とすることが活動の意欲となり、日々努力をすることで将来のステップへのきっかけとなる。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

##### 第12回ゴールドコンサート報告書 (DVD付き)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会（トクテイヒエイリカツド  
ウホウジン ニホンバリアフリーキョウカイ）

住 所： 〒102-0093  
東京都千代田区平河町1-7-16-801

代 表 者： 代表理事 貝谷 嘉洋（カイヤ ヨシヒロ）

担 当 部 署： 事務局

担 当 者 名： 高瀬 舜（タカセ シュン）

電 話 番 号： 03-5215-1485

F A X： 03-5215-1735

E - m a i l： [takase@npjba.org](mailto:takase@npjba.org)

U R L： <http://www.npojba.org/>